

## 策定の趣旨

札幌を取り巻く社会経済情勢の変化に対応します。

札幌市では、平成32年（2020年）を目標年次とする札幌市基本構想（平成10年（1998年）議決）と第4次札幌市長期総合計画（平成12年（2000年）策定）に基づき、計画的にまちづくりを進めてきました。

しかし、少子高齢化や人口減少、札幌・北海道経済の長期にわたる低迷、福島第一原子力発電所の事故をきっかけとしたエネルギー政策の見直しなど、札幌を取り巻く社会経済情勢が、計画策定時の想定を超えて、大きく変化しています。

こうした状況の中、私たちが、目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共に取り組んでいくために、札幌市まちづくり戦略ビジョン（以下「戦略ビジョン」という。）を策定するものです。

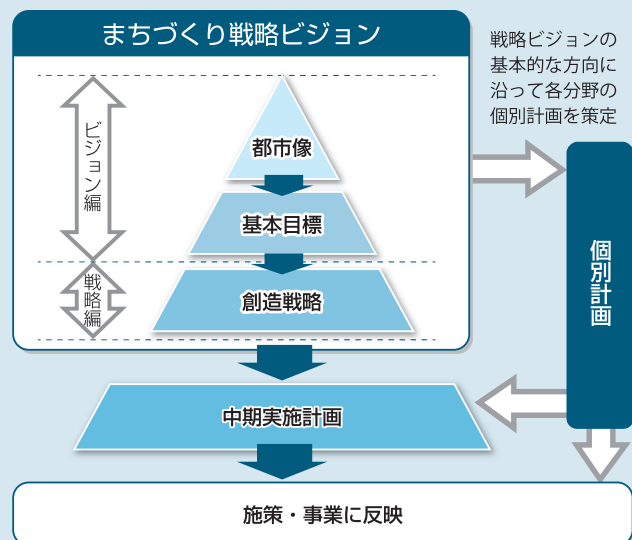
## 位置付け・期間

札幌市のまちづくりにおける最上位の計画です。

## ◆戦略ビジョンの位置付け

戦略ビジョンは、新たなまちづくりの基本的な指針となるものであり、札幌市のまちづくりの計画体系では、幅広い分野にわたる総合計画として最上位に位置付けられます。

それぞれの行政分野には、法令に基づくものや札幌市が独自に策定するものなど、様々な個別計画がありますが、これらは、いずれも戦略ビジョンの基本的な方向に沿って策定し、推進していきます。



## ◆計画期間と目標年次

平成25年度（2013年度）から平成34年度（2022年度）までの10年間を計画期間とし、平成35年（2023年）を目標年次と設定します。

## 特 色

「市民と共有できるビジョン」にします。

## ◆市民と共有できるビジョン

市民自治によるまちづくりを目指し、市民と共有するための「市民計画」として位置付けるとともに、広く市民の参加を得ながら共に作り上げることにより、「市民と共有できるビジョン」にすることを基本的な考え方としています。

## ◆ビジョン編と戦略編

戦略ビジョンは、私たちが一体となってまちづくりを進めるために、目指すべき将来のまちの姿を描いた「ビジョン編」と、主に行政が優先的・集中的に実施することを記載した「戦略編」で構成しています。